

建築物解体工事特記仕様書【令和5年4月版】		完成図等		完成写真		火災保険等		仮設		工事		足場等		設計年月日		調査者氏名		設計者氏名		工事名称		全業		図面 No	
I 工事概要 1 工事番号・名称 2 工事場所 3 用途地域等 4 都市計画区域 5 防火地域等 6 主要用途 7 敷地面積 8 工事の概要 9 別途工事 10 その他 11 特記仕様書の範囲	I 工事概要 1 工事番号・名称 2 工事場所 3 用途地域等 4 都市計画区域 5 防火地域等 6 主要用途 7 敷地面積 8 工事の概要 9 別途工事 10 その他 11 特記仕様書の範囲	防水工事 ・防水施工 ・石工工事 ・タイル工事 ・木工工事 ・屋根及びとい工事 ・金属工事 ・左官工事 ・建具工事 ・カーテンウォール工事 ・塗装工事 ・内装工事 ・排水工事 ・舗装工事 ・植栽工事	・防水施工 (・アスファルト防水工事業業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事業業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事業業 ・合成ゴムシート防水工事業業 ・塩化ビニル系シート防水工事業業 ・セメント系防水工事業業 ・シーリング防水工事業業 ・改質アスファルト防水工事業業 ・FRP防水工事業業)	10. その他 ・設置する (・ ※脚立、足場板等) ・設置しない ・材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・A種・B種・C種・D種・E種) C種: 利用可能なエレベーター D種: 利用可能な階段 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ・酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ・作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・工事に関係部分の出入の表示を行うこと。	3 ① 解体工法 ② 施工計画書等 ③ 杭 ④ 樹木等 ⑤ 地下埋設物の埋設配管 ⑥ 解体後の整地 ⑦ 建設発生土の処理 ⑧ 有害物質含有調査	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準 (建設リサイクル法規則第2条)」による。 [1. 2.1~2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。 [3. 9. 2] 杭の解体 ・ 行う (※杭頭から mまで ・全長 ) 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ) ・ 粉砕による解体 [3. 11. 1] 樹木の伐採伐根 ・ 行う (図示による) 樹木の移植 ・ 行う (図示による) [3. 12. 1] 地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う (図示による) [3. 13. 1] 解体後の埋戻し及び盛り土 ・ 行う 埋戻し及び盛り土の材料 (3. 2. 3) (表3. 2. 1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの (粒径4. 0mm以下) を使用する。 埋戻し範囲 ・ 図示による C種の場合 建設発生土受入れ量 m3 発生場所 受入条件 [3. 2. 5] 整地の高さ ・ 現状G L ・ 図示による [5. 4. 1] 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地 (km) ・ 土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※図示	2. 産業廃棄物 広域認定制度の活用 [4. 4. 2] 種類 所在地等 (km) 3. 最終処分 ・ (安定型) [4. 4. 3] 種類 受入施設名称等 所在地 (Km) 備考 ・ (管理型) (遮断型) 種類 受入施設名称等 所在地 (Km) 備考 1~3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること [4. 5. 1] 種類 処理施設名称等 所在地 (Km) 備考 ・ CCA処理木材 ・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード ・ <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏 (株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード (株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの	7 完成図等 ⑦ 完成図等 ⑧ 完成写真 ⑨ 火災保険等	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原画 (ネガ又は電子媒体) とともに監督職員に提出する。なお、原画を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。 分 類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式 ※カラー ※L ※宮城県写真 ※工事用アルバムA4版 ・ 白黒 ・ 2L 撮影要領の ※1部 ポケット式程度 ・ 六切り ・ 完成写真程度 ・ 部 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)	2 ① 仮囲い ② 騒音、防塵等の対策 ③ 交通誘導員 ④ 監督職員事務所 ⑤ 工事表示板 ⑥ 工事用水 ⑦ 工事用電力 ⑧ 工事用通路 ⑨ 足場等	※ 設ける (位置、延長等は図示) ・ 万能鋼板 (H= ) ・ 単管シート (H= ) ・ 防音パネル (H= ) ・ パネルゲート (W= H= ) × 箇所 ・ シートゲート (W= H= ) × 箇所 設けない ※ 設ける (適用範囲、高さ等は図示) ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 養生シート 設けない ※ 配置する ( 日 × 人 = 人日) ・ 配置しない [2. 2. 1] [2. 3. 1] 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (規模 m程度) ・ 備え付ける備品 ( ) 設けない 営繕工事における工事及びコスト表示要領 (平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定) により設置する。 ※ 工事表示板 設置枚数 1枚 ・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。 構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない ※ 指定しない ・ 指定する (図示) 外部足場 ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 <2. 2. 4> ) ・ 設置しない <2. 2. 1> 防護シート ・ 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ) ・ 設置しない	4 1. 再資源化等 [1. 3. 10] [4. 4. 1] 建設廃棄物の種類 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 所在地 (km) 建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地 (km) 建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地 (km) 建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地 (km) 現場利用する再資源化された建設廃棄物 [4. 4. 1] 種類 利用する場所 (箇所) 等 ※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシュラン (0~40) として利用する場合は、標準仕様書 (表22. 3. 3) の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。	5 1. 施工調査 [5. 1. 2] 材料名 仕様等 (型式、厚さ、数量) 調査の範囲 ※ 図示 ・ 工事対象範囲 [5. 1. 3] [1. 2. 2] ※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物の種類 処分場の名称 所在地等 (km) ・ 廃石綿 [5. 4. 1] PCB (ポリ塩化ビフェニール) 含有機器 ・ 有 (数量は図示) ・ 無 [5. 4. 1] PCB含有シーリング材 ・ 有 (施工範囲は図示) ・ 無 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。 [7. 3. 1] 回収又は処分を行う副産物の種類 対象機器名称 回収業者又は処分場の名称等 保管場所・処分場の所在地等 ・ フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六フッ化硫黄 (SF6) ガス	II 建築工事仕様 1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」 (以下、「解体共通仕様書」という。 ) による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「標準仕様書」という。 ) 及び「公共建築改修工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「改修標準仕様書」という。 ) による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の [ ]、 ( ) 及び < > 内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	II 建築工事仕様 1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」 (以下、「解体共通仕様書」という。 ) による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「標準仕様書」という。 ) 及び「公共建築改修工事標準仕様書 (令和4年版)」 (以下「改修標準仕様書」という。 ) による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の [ ]、 ( ) 及び < > 内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 設計年月日 電話 022-211-326 ( 調査者氏名 FAX 022-211-3190 設計者氏名 宮城県土木部営繕課	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 設計年月日 電話 022-211-326 ( 調査者氏名 FAX 022-211-3190 設計者氏名 宮城県土木部営繕課	設計者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No			
																							図面名称	特記仕様書 (1)	Scale

6 ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去	1. 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲（※施工範囲全て） ・ 図示</p> <p>貸与資料（ ）</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th colspan="2">JIS A 1481 または JIS A 1481-2</th> <th colspan="2">JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 &lt;9.1.1&gt;</p> <p>測定点 測定時期、場所及び測定箇所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定 9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">5</td> <td rowspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石綿含有吹き付け材の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ・ 図示</li> <li>除去工法 ・ ※9.1.3(2)(7)による</li> <li>除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置           <ul style="list-style-type: none"> <li>※湿潤化 ・ 固形化</li> </ul> </li> <li>除去した石綿含有吹き付け材等の処分           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埋立処分（管理型最終処分場）</li> <li>・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>石綿含有保温材等の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ・ 図示</li> <li>除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし</li> <li>除去した石綿含有保温材等の飛散防止           <ul style="list-style-type: none"> <li>※湿潤化 ・ 固形化</li> </ul> </li> <li>除去した石綿含有保温材等の処分           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埋立処分（管理型最終処分場）</li> <li>・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>石綿含有成形板の除去       <ul style="list-style-type: none"> <li>除去対象範囲 ・ 図示</li> <li>除去した石綿含有成形板の処分           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石綿含有せっこうボード</li> <li>※埋立処分（管理型最終処分場）</li> <li>・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板</li> <li>・ 埋立処分（安定型最終処分場）</li> <li>・ 中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4		・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点	・	測定 3		処理作業室内	・計 点	・	測定 4		セキュリティゾーン入口	・計 点	・	測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・	測定 6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・計 点	・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点	・	測定 8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点	・	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定 5	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	・測定	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定											
		材 料 名		定性分析方法		定量分析方法																																																																																																								
JIS A 1481 または JIS A 1481-2			JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																											
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																										
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																																																																																																										
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																																																										
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																										
・	測定 3		処理作業室内	・計 点																																																																																																										
・	測定 4		セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																																										
・	測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置																																																																																																										
・	測定 6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・計 点																																																																																																										
・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点																																																																																																										
・	測定 8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点																																																																																																										
・	測定 9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																										
測定名称	測定方法																																																																																																													
・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																													
・測定 5																																																																																																														
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																											
・測定 4	25	5	30																																																																																																											
・測定 5																																																																																																														
・測定	47	10	120																																																																																																											
・測定	47	10	240																																																																																																											
・測定																																																																																																														
		宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326（ ） FAX 022-211-3190 宮城県土木部 営繕課		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全葉	図面 No																																																																																																					
						図面名称		Scale																																																																																																						
						特記仕様書(2)																																																																																																								